



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

### 産業廃棄物処理計画書

2024年6月27日

都道府県知事  
(市長) 殿

#### 提出者

住 所 福岡市中央区那の津5丁目3番1号  
氏 名 JA北九州ファーム株式会社  
代表取締役社長 坂爪 義弘  
電話番号 092-738-2002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JA北九州ファーム株式会社 安岐農場
事業場の所在地	大分県国東市安岐町吉松3457-92
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

#### 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 11,500頭
③従業員数	16人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿：自己堆肥化 家畜の死体：処理業者への委託処理 汚泥：処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

## (管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体	汚泥
	排出量	26595.44 t	47.16 t	1190.19 t
(これまでに実施した取組)				
②計画	家畜ふん尿	：自己堆肥化		
	家畜の死体	：処理業者への委託		
	汚泥	：処理業者への委託		
【目標】				
②計画	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	家畜の死体	汚泥
	排出量	27000.00 t	50.00	1200.0 t
	(今後実施する予定の取組)			
家畜ふん尿：自己堆肥化 家畜の死体：処理業者への委託 汚泥：処理業者への委託				

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
-----	-------------------------------

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	26595.44 t	t
	(これまでに実施した取組)		
自己堆肥化			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の糞尿	
	自ら再生利用を行 う 産業廃棄物の量	27000.00 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自己堆肥化			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行 う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t

	(今後実施する予定の取組)
--	---------------

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	汚泥
	全処理委託量	47.16 t	1190.19 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	47.16 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t

	(これまでに実施した取組)
	処理業者への委託処理

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	汚泥
	全処理委託量	50.00 t	1200.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	50.00 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
家畜の死体：動物性飼料原料として有効活用するため、従来通り処理業者へ委託する。 汚泥：引き続き処理業者へ処理を委託する。			
※事務処理欄			